

大乗会通信

発行 南富良野町字幾寅528番2
社会福祉法人南富良野大乗会
印刷所 こざくら園印刷科

平成23年度を迎えて

理事長 鷹 嘴 充 子

青葉若葉をわたる風がさわやかな季節を向かえ、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日ごろより、当法人の各種事業に対しましては、特段なるご指導、ご支援をいただき厚くお礼を申し上げます。また、昨年度は、法人創設30周年を迎え、地域の皆様に支えられてきた中で各種事業の運営が計画的に推進され法人運営の基盤体制を築かせていただきましたことに対して、改めて感謝を申し上げます。

さて、この度発生しました東日本大震災により日本の社会に計り知れない打撃を与え、甚大な被害により被災された皆様に一日も早い復旧・復興と震災により亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りさせていただきお見舞いを申し上げる次第であります。

このような未曾有の非常事態において、社会福祉法人としての公益性と社会的使命を踏まえ、関係機関のご指導を得ながら社会福祉事業の推進を遂行するために役職員一丸となつて努力をしております。

なお、平成23年度の法人運営については次の項目を重点に取り組んでまいります。

- (1) 障害者自立支援法及び介護保険法などの関係法令を遵守し、施設利用者の心身の状況や障がいの特性に応じた適切なサービスと地域のニーズに対応したサービス提供を推進します。
- (2) 障害者自立支援に基づく旧法体系の事業所においては、平成24年4月からの新事業体系への円滑な移行のため制度の改正状況を見据えた準備・対応を進めます。
- (3) 施設等の整備事業を計画的に推進・検討します。
 - ①からまつ園改築事業について
 - ②こざくら園改修事業について
 - ③自活訓練棟「ふらっぷ」の sprinkler 整備事業について
 - ④グループホーム・ケアホームの整備事業について
 - ⑤職員住宅の確保について
- (4) 透明性のある健全な法人運営と経営基盤の確立に努めます。
- (5) 職員の資質向上と福祉人材の確保に努めます。
- (6) 法人職員は基本理念や職員倫理綱領に基づいた利用者の権利擁護を推進し利用者の個性を尊重したサービス支援に努めます。

以上のことを本年度の基本方針として、ご利用者のサービス提供の向上と当法人の経営基盤の推進に努めてまいりますので、皆様方のより一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

《平成23年度法人事業所の利用定員等について》

事業名	種別	施設利用定員		
		入所	通所	ショートステイ
(1) からまつ園	知的障がい者更生施設	106名	10名	併設型2名空床型
(2) こざくら園	知的障がい者授産施設	48名	10名	併設型1名空床型
(3) なんぷ〜香房	就労継続支援事業[B型]		30名	
(4) グループホーム・ ケアホームひあ	共同生活援助 共同生活介護	35名		
(5) ふくしあ	特別養護老人ホーム	50名		空床型
(6) 一味園	特別養護老人ホーム	50名		8床

☆ 「NTTどさんこギフト倶楽部」様より寄贈を受けました ☆

こざくら園では「NTTどさんこギフト倶楽部」様より助成を受けて、ホームシアターセットを整備しました。

3月29日にNTT旭川増田修一支店長から鷹嘴理事長に目録の贈呈が行われました。

ご利用者の映画鑑賞に活用することで、余暇時間の一層の充実に努めていきます。

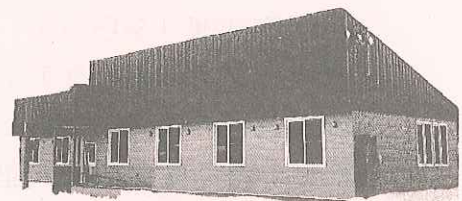
〔 5.1chサラウンドシステム
プロジェクター・ブルーレイプレーヤー 〕



☆ グループホーム「あおば」が開設しました ☆

南富良野大乗会の7ヶ所目となる知的障がい者グループホームが3月7日に開設し、からまつ園・こざくら園の利用者6名（男性）が新築の真新しい「あおば」で地域生活をスタートしましたので、地域の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

また、「あおば」が設置されている場所は、旧幾寅駐在所跡地で日中活動の拠点となる「なんぷ〜香房」森のパン屋にも近いことなどから地域生活を送る上では、入居者の皆さんにおいても安心して生活できる環境にあります。



☆ 東日本大震災の発生に伴う協力等について ☆

このたび「東日本大震災」により被災されました皆様には、心よりお見舞い申し上げます。当法人では、被災された福祉施設への職員派遣と被災された要援護者等の受入れにおいて可能な範囲でご協力させていただくことで、少しでも被災された方々のお力になればと考えております。